

1 自校の課題及び特色ある教育活動における自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

| 大項目 | 評価項目 | 評価の視点 | 改善策 | コメント |
|-----|-----------------------|---|---|--|
| | | | | |
| 学力 | 基礎的な学力の定着と学習習慣の育成を図る。 | ・基礎・基本の学力の定着は図られたか。 ・児童の学習意欲の向上は図られたか。 | ・言語活動を大切に思考力、判断力、表現力等の育成 ・体験的活動や問題解決学習等を積極的に活用 | ・これからの子どもたちは、自分の考えをしっかりとち、自分の言葉で言い表すことが大切。 |
| 生活 | 生活指導を徹底する。 | ・あいさつや言葉づかいの指導は適切であったか。 ・社会生活や集団生活のルールを守っているか。 | ・教職員による児童一人一人を大切にされた指導の徹底 ・教員の共感的理解と毅然とした指導 | ・あいさつは、人とのコミュニケーションの始まりである。社会生活のルールはしっかり身に付けて欲しい |
| 特色 | 本校の特色ある教育活動を推進する。 | ・低学年のモルモットやウサギの飼育 ・高学年の鼓笛隊、赤松タイムによる交流活動など。 | ・赤松タイムの内容の精選と充実 ・総合学習による体験や探究的な学習の充実 | 伝統ある行事が古くから行われているので守りつづけてほしい。 |
| 連携 | 開かれた学校の推進 | ・近隣幼保小中連携教育の推進 ・学校だより・HP・緊急メールなどによる情報発信 | ・教育活動の理解と支援のため、学校からの情報発信(H P)の更新と保護者との話し合いの充実 | 先生方と保護者のコミュニケーションがもっととれるようにしたい。 |

2 指導課事業における自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

| 大項目 | 評価項目 | 評価の視点 | 改善策 | コメント |
|--------------|--|---|--|---|
| | | | | |
| 学力向上 | 大田区学習効果測定の結果を分析し、全教員で授業改善に取り組んでいる。 | ・大田区学習効果測定の結果分析 ・結果分析に基づいた授業改善プランの作成 | ・教員が授業改善プランに基づいた授業を実施する。 | ・授業改善プランの効果はあったのか？教えていただきたい。 |
| | 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る授業を行っている。 | ・習熟度別学習【算数】の充実 ・放課後の補習教室や土曜補習教室の充実 ・ステップ学習プリントの活用 | ・ステップ学習の結果を家庭に連絡し、連携を図る。 | ・算数少人数や補習教室など大変努力していると考えられる。ステップ学習の活用はもう少し。 |
| | 小学校外国語活動の充実に努めている。 | ・夏季休業中の教員の校内研修会の実施 ・ALTと担任TTによる授業(5、6年) ・ボランティア講師による英語活動(1～4年) | ・定期的な研修会を設け、指導力の向上に努める。 ・外国語講師との打ち合わせを綿密に実施する。 | 外国語活動は児童が楽しそうに学習しているので良いと思う。 |
| 人間力向上 | 規範意識向上プログラムに基づいた教育活動を推進している。 | ・道徳の時間及び各教科等、教育活動における規範意識向上のための指導 ・規範意識向上プログラムの授業における活用 ・地域・保護者への啓発 | ・「規範意識向上プログラム」を活用した授業等を実施する。 ・学校だより、区からのお知らせなど積極的にアピールする。 | ・規範意識向上プログラムについてよく分からない、もっと学校から発信して欲しい。 |
| | 早寝・早起き・朝ごはんの推進を図るために家庭における基本的生活習慣の確立を啓発している。 | 「早寝・早起き・朝ごはん月間」の取組(6月・11月) ・家庭への啓発運動 | ・「早寝・早起き・朝ごはん」の重要性を保護者に情報発信していく。(校医の先生から、赤松タイムで話していただいた) | ・大切な取組であり、基本的生活習慣を身に付けるために重要である |
| きこえ一人一人に向 | 定期的な教育相談を実施し、児童・生徒の心に向き合う教育を推進している。 | ・個人面談の実施による児童理解や実態把握 ・メンタルヘルスチェックの活用 | ・授業や休み時間など学校生活全体を通し、教員が児童一人一人の理解に努め、保護者と連携を図る。 | ・個人面談や家庭への連絡など学校と家庭がよく連携している。 |
| | 問題行動の未然防止及び早期発見・解決に向けて努力している。 | ・ケース会議の実施による問題行動等の予防や状況把握 ・スクールカウンセラーや関係諸機関との連携 | ・学校と家庭との連携を密にする。児童の状況を把握し、児童理解に努めると共にスクールカウンセラーや関係機関との連携をとる。 | ・休み時間などの児童の看護などよくやっている。もう少し、子どもたちと先生が時間的にゆとりをもち、向き合えるとよい。 |
| 教員の上指導力 | 校内研究・校内研修を活性化し、教員の指導力向上に努めている。 | ・大田区教育推進校としての取組 ・OJTによる組織的な教員の育成 | ・校内研究【生活科・総合的な学習】の研究授業や発表を 目指し、指導力の向上に努める。 ・定期的なOJT研修会を実施し、共通理解・認識を図る。 | ・研究発表会を今年度は2回も実施し、先生方が研究に真摯に取り組む、指導力をつけるよう努力している |
| | 授業改善リーダーによる公開授業への参加、指導課主催など校外で行われる各種研修会に参加し、教員の指導力の向上に努めている。 | ・指導課主催の研修会への参加 ・大森六中校区の小中連携合同研修会への参加 ・区教育研修会への参加 | ・区教委主催の研修会や区教育研修会への参加 ・大森六中校区の合同研修会への参加 | ・小学校や中学校が連携を取り合いやっていることは、指導上大変有効と考える。 |
| 歩地む域く学と校共づくに | 相互理解と信頼をはぐくむ開かれた学校づくりに務めている。 | ・地域の声を生かした行事の実施 ・週休日等における授業公開 ・保護者・地域による授業アンケートの実施など | ・ホームページの充実を図り、保護者・地域との連携を図る。 ・学校公開や保護者会の持ち方などを工夫し、連携を図る。 | ・HPは昨年より、更新されている。学校だよりの校長先生の文章がよかった。来年度はもっと期待している。 |

